

**横手清陵学院中学校が弁当開発 横手やきそば使う「そばめし」も**



秋田県立横手清陵学院中学校（横手市大沢）の2年生が11月3日、同日に開かれる文化祭でオリジナル弁当を販売する。（横手経済新聞）

「秋田を広くPRするためには」というテーマを設け2年生が学ぶ総合学習の一環。弁当開発に携わった7人は、地元弁当店のスマイルエボ（駅西）の協力を得て、横手やきそばを材料にした「そばめし」のほか、枝豆とシャコの混ぜご飯など4種のおにぎりなどを考案した。

事前に保護者から注文を取ったところ、50食の予約が入ったという。文化祭当日は、20食限定で一般にも販売する。

同校2年生学年主任の利敬一朗教諭は「この体験は生徒が秋田の良い物を知るきっかけにもなるのでは。数量限定だが、ぜひ出来栄を楽しみにしてもらえれば」と話す。

価格は500円。文化祭は11時開始。 （令和5年11月1日（水）YAHOO！

ニュース みんなの経済新聞より一部抜粋）